

自主防災の重要性を再認識 せとうち「防災とまちづくり教室」

12月5日、自主防災組織の役員、消防団員など約240人が参加して、せとうち「防災とまちづくり教室」を中央公民館で開催しました。

山口大学大学院の瀧本浩一准教授が「地域防災のすすめ方」と題して講演。具体的な防災対策は、地形、被害の範囲、避難経路などの「面」と災害の発生から対応までの流れの「時間」の2つの観点から考えることが必要と話しました。

この他にも市職員による災害時要援護者避難支援計画の説明や非常食の試食、防災マニュアルの配布なども行われ、地震や水害への備えの大切さを学ぶことができました。



防災を分かりやすく説明した瀧本准教授(右上) / おいしいとの声があがった非常食の試食(左下)

地域ブランドの確立を目指して 瀬戸内市ブランドプロジェクト



さまざまな立場の関係者が一丸となって瀬戸内市のブランド化を検討

12月15日、瀬戸内市ブランドプロジェクトの会議が開催されました。瀬戸内市の農水産物やその加工品をブランド化し、付加価値の向上を図ることを目的として行われたもので、市内の生産者や流通業者などがメンバーになっています。

第1回目となるこの日は、他地域の取組事例を紹介しながら、地域ブランドとは何かを考えるとともに、意見交換を行い、意識の共有を図りました。今後はこうした会議を月1回程度開催し、自然、歴史、文化などの地域資源も見直し、ブランドイメージを考え、商品開発、販売戦略などを今秋までに取りまとめることにしています。

気持ちよく走って 市民団体が岡山ブルーラインを清掃

12月25日、岡山ブルーラインの清掃が行われました。主催した「健康な瀬戸内市を育てる市民の会」(時實典子代表)は、平成15年に美しいまちづくりを目指して道路や河川などの清掃活動をボランティアで行う「おかやまアダプト推進事業」の認定を受け、年4回清掃活動を行っています。

当日は、冷え込みの厳しい早朝にもかかわらず約50人が参加。瀬戸内インターから片上大橋までの区間のごみ約500kgを回収しました。空き缶やペットボトルに混じり、テレビなどの粗大ごみも。参加者はごみの量に驚くとともに、モラルやマナーの向上の必要性を再認識していました。



捨てられているごみを丹念に拾う参加者の皆さん

cover photograph



①決意を新たにした新成人たち / ②記念品を授与される宮本梨沙さん(牛窓町牛窓) / ③司会の沖津ほのかさん(長船町福岡)(左)と末長涼子さん(邑久町福元)(右) / ④再会を楽しんだ記念行事 / ⑤着崩れは「着付け110番」にお任せ!



1月9日、市成人式がゆめトピア長船で開催され、新成人326人が出席しました。式典では、新成人を代表して安木義晴さん(長船町磯上)が「今日まで私たちを支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからの人生、強い気持ちを持ち、夢に向かって歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました(表紙写真)。式典後は、各地域に分かれて記念行事へ参加。久しぶりに会った友人や恩師との旧交を温めるとともに、中学校時代のビデオの上映やビンゴゲームなどで盛り上がりました。

きれいな瀬戸内市を守るぞ エコ戦隊もってえねんジャーがデビュー

瀬戸内市青年団が、12月12日に中央公民館で開催したクリスマス会「サンタ de フェスタ」にもってえねんジャーが登場しました。

市が取り組んでいるごみの減量を分かりやすく伝えることを目的に企画されたもので、エコ戦隊もってえねんジャーとゴミの力で大きくなった地球ハカイダーが戦う内容。本格的な立ち回りに観客からは、大きな歓声が上がっていました。

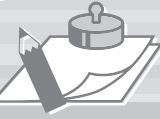
会場にはクリスマスにちなんださまざまなコーナーも設けられ、クッキー作りに挑戦したり、ブーツや帽子を飾り付けたりして、家族や友達同士で楽しい時間を過ごしていました。



エコレッドのパンチが地球ハカイダーに炸裂! (左上) / 親子で楽しんだクッキー作り(右下)



まちの
話題



問 政策調整課 : 0869-22-1113